

11月10日 13:00-14:30@サイエンスアゴラ2013

科学コミュニケーション活動の 評価を考えるWS

科学コミュニケーション研究会

ワークショップの目的

「SC活動の評価」について、

- ・どんな考え方があるのかを知り、
- ・自分なりの観点を持つ

ためのきっかけとする事が目的です。

なにかの結論を出す事は目的としません。

今日の内容

- ・ プレ勉強会の報告 (10分)
- ・ グループディスカッション (60分)
- ・ 全体での議論 (20分)

プレ勉強会のご報告

プレ勉強会

- 関東で3回、関西で1回開催
- 本WSの参考になる論点出しが目的
- 平時の科学コミュニケーション活動、
特に対話型イベントを想定して議論

評価の枠組み

- ・ 誰が
- ・ どんな目的で

- ・ なにを
- ・ いつ
- ・ どのように

誰がどんな目的で評価するのかが
決まれば、あとは自動的に定まる

誰が？

歴史

社会

SC活動

観察者

講師

協力者

主催者

一般参加者

スポンサー

スタッフ

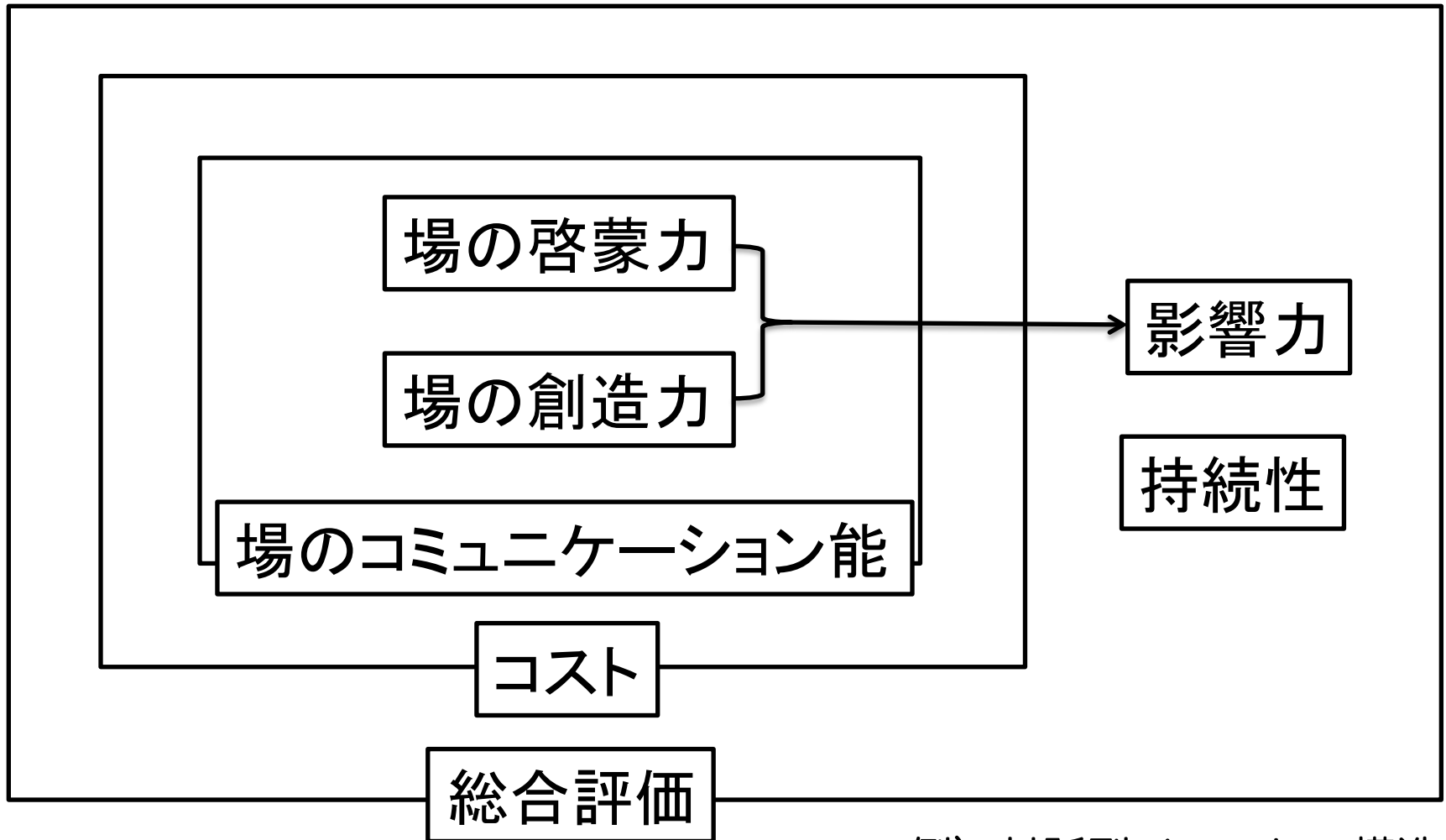
メディア

他主催者

どんな目的で？

- 活動の振り返りと改善のため
- 他のイベントとの比較のため
- 支援先の活動内容のチェックのため
- スポンサーとしての投資判断のため
- 次回も参加するかどうかの判断のため
- 科学コミュニケーションの研究のため
- . . .
- . . .

なにを？



例) 対話型イベントの構造

どうやって？

- 項目の洗い出しとグルーピング
(参考資料) 白石さん、加藤さんのまとめ
- 目的に応じた項目の適切な組み合わせ
- 限られた機会、資源での効果的な調査
- 想定できない効果をどう評価するか

グループディスカッションの 進め方

進め方

- 大まかな興味毎に4つのグループに分かれて議論します。
- 視野を広げるのが目的ですので、話題が広がるのは自由です。
- 最後に各グループ毎に内容を報告し、全体で議論の結果をシェアします。